

令和7年度第7回
大森図書館 小林図書館

30th Anniversary

30周年記念事業

印西市企画提案型
協働事業



メジロ



オオルリ



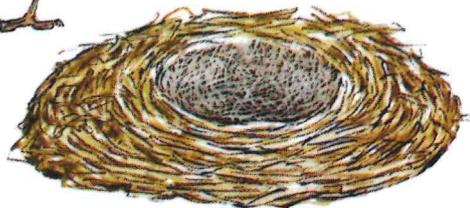
ヒヨドリ



提案1-1



キセキレイ



セツカ

絵本と鳥の巣のふしぎ

鳥の巣が教えてくれること

絵本作家・鳥の巣研究者
鈴木まもる氏 講演会

せんりょう資料1-3 提案1



鈴木まもる氏
ご著書
サイン会

著書にサインを書いていただけます。
お持ちの方はぜひ、ご持参ください。

2025
7/27
(日)

参加費 無料
未就学児及び
小学3年生までのお子様は
保護者同伴にて参加可能

13:30~16:00
(受付13:00~)

事前申込制
定員 80名
先着

印西市文化ホール
2F 多目的室

鈴木まもる氏持参! 20個
鳥の巣の実物 見られます!

協働事業者：印西子どもの文化連絡会

印西
子どもの文化連絡会
子文連



子文連 HP

子文連 Q 検索

絵本作家・鳥の巣研究者 鈴木まもる氏 講演会

絵本と鳥の巣のふしぎ

鳥の巣が教えてくれること

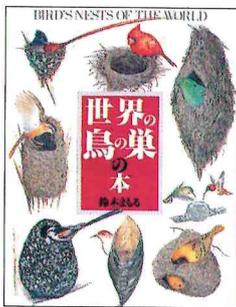
2025年 7月 27日(日) 13:30~16:00 (受付13:00~)



鈴木まもる氏 プロフィール

画家／絵本作家／鳥の巣研究者

1952年 東京生まれ
東京藝術大学美術学部工芸課中退。
絵本・童話の挿絵など児童図書の絵をおもに描いている。
1986年に東京から静岡県伊豆に転居。野山でみつけた鳥の巣の造形的魅力にとりつかれ、独学で巣の研究と収集を始める。
以来、収集した巣の数はおよそ230種、550個以上。
絵画活動と並行して鳥の巣の研究をし、各地で鳥の巣展など開催。
また、鳥の巣に関する著書多数。



主な絵本の仕事

「世界の鳥の巣の本」(岩崎書店) 「せんろはつづく」「てをつなぐ」「火の鳥」(金の星社)
「ぼくの鳥の巣絵日記」「日本の鳥の巣図鑑」(偕成社)
「みんなあかちゃんだった」(小峰書店) 「ウミガメものがたり」(童心社)
「あるヘラジカの物語」「戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦」(あすなる書房)
「鳥は恐竜だった 鳥の巣からみた進化の物語」(アリス館) など多数。

1995年 「黒ねこサンゴロウ」シリーズ 赤い鳥挿絵賞受賞。
2006年 「ぼくの鳥の巣絵日記」 講談社出版文化賞絵本賞受賞。
2015年 「ニワシロリのひみつ」 産経児童出版文化賞受賞。
2016年 「世界655種、鳥と卵と巣の大図鑑」 あらえびす文化賞受賞。
NHK「プレミアム 8-ワイルドライフ、群れで生き抜くーシャカイハタオリ」(ナミビアで撮影) 出演。
アルベール国際動物映像祭 特別審査員賞受賞。
2025年 第3回やなせたかし文化賞受賞。

必 会場のご案内 印西市文化ホール 2F 多目的室 〒270-1327 千葉県印西市大森 2535



必 参加申込み

以下のいずれかより事前にお申込みください

ちば
電子申請
サービス



お申し込みは
こちらから↓
ごちうか

大森 図書館の
窓口

図書館窓口
申込用紙
にて窓口
直接お申し込み

申込受付時期: 2025年 7月 6日 9:00~2025年 7月 23日 17:00

- ・申込人数合算が先着定員80名に達したら締切
- ・図書館での申込みは図書館営業時間内

必 問合せ

印西市立 大森図書館 0476-42-8686

9:00~17:00(水のみ19:00まで) / 休館日・日曜日



鳥の巣講座用テキスト 鈴木まもる



コンプソグナトゥスの骨



コンプソグナトゥス



始祖鳥の骨



始祖鳥



竜骨突起

ハトの骨



ハト

『鳥の巣研究ノート』（あすなろ書房刊）より

小さいのちの芸術作品

ノンフィクション作家 柳田 邦男

鳥の巣は「いのちの生まれるところ」だと教えてくれたのは、鈴木まもるさんだ。

鳥の巣は「子どものそだつところ」だと教えてくれたのも、鈴木まもるさんだ。

その言葉を聞いて私が驚きに近い感動を覚えたのは、数年前の「鳥の巣展」の会場でさまざまな鳥の巣の実物を観ていた時だった。言われてみればあたりまえのことについて、自分がただ知識として理解していたに過ぎなかったのを、鳥の巣の実物を見て気づかされたからだ。

ふしぎな美しさが、そこにはあった。まるで精密工学の製造物のようだが、機械製品とは全く質が違う。鳥の種類によって、巣の材料も形も大きさも違う。一つ一つに個性がある。あの小さな小さな頭脳が、こんなにもみごとな造形作品を、あの小さな嘴でスピーディに作ってしまう。「小さいのちの芸術作品」と言おうか。身近ならウグイス、メジロ、オオヨシキリなどの可愛らしい巣にはじまり、アメリカやアフリカなどのそれぞれの風土ならではの奇怪な形の巣まで、実物やスケッチのオンパレードに接すると、私などはただ驚嘆するのみだ。

しかも美しいだけではない。材料と構造の両面において、母鳥が卵を温めやすくするためにも、か弱いひなをウィルス、細菌、かびなどから守るためにも、実に衛生的に作られているのだ。鈴木さんは、そういう科学の目を見た鳥の巣のすばらしさについても教えてくれた。

世界の鳥の巣の観察と収集という、他の誰もやらなかったこのユニークな鈴木さんの仕事に、私は大きな賛辞をおくりたい。子どもも大人も、この多種多様な鳥の巣たちの実物を、自分の目で見て、感じ、考えてほしい。

鈴木まもる 略歴

1952年 東京に生まれる。東京藝術大学美術学部工芸科中退。

1986年より伊豆半島在住。

画家・絵本作家・鳥の巣研究者

絵本・童話の挿絵など児童図書の絵をおもに描いている。

☆主な絵本の仕事

「せんろはつづく」「すすめ きゅうじょたい」「てをつなぐ」「火の鳥」(金の星社)「みんなあかちゃんだった」「だっこ」(小峰書店)「ピンポンバス」「おはよう!しゅうしゅうしゃ」「いそげ!きゅうきゅうしゃ」(偕成社)「だんろのまえで」(教育画劇)「ウミガメものがたり」(堂心社)「いのちのふね」「つかまえた!」(講談社)など。

1995年「黒ねこサンゴロウ」シリーズで赤い鳥さし絵賞受賞。

2006年「ぼくの鳥の巣絵日記」で講談社出版文化賞絵本賞受賞。

2015年「ニワシドリのひみつ」産経児童出版文化賞受賞。

2016年「世界655種、鳥と卵と巣の大図鑑」あらえびす文化賞受賞。

NHK「プレミアム8—ワイルドライフ、群れで生き抜く—シャカイハタオリ」
(ナミビアで撮影)に出演。アルベール国際動物映像祭 特別審査員賞受賞

絵画活動と並行して鳥の巣の研究をしている。

☆鳥の巣の主な展示

1998年 東京新宿のギャラリー高野にて、日本初の「鳥の巣展覧会&原画展」を開催。

その模様はNHK教育TV「新・日曜美術館」でも放映された。

以後ギャラリー高野にて1999、2001、2002年開催。

2002年 ニューヨークのギャラリーAnnexにて初の海外展「NESTS」を開催。

2006年 東京武蔵野市立吉祥寺美術館。「実物とイラストで見る鳥の巣の造形美」開催。

2008年 上野動物園、「世界の鳥の巣と原画展」。2009年 渋谷ギャラリー樓「鳥の巣と絵本原画展」
全国各地で展覧会を開催。

2017年 三島ビュフェ美術館、以降全国で展覧会をしている。

NHK「新日曜美術館」、「生活HOTモーニング」、「視点。論点」 「モリゾートキッコロ」

BS2「熱中時間」などTV出演多数。「ダーウィンが来た!」では鳥の巣関連のアドバイスなど。

鳥の巣を扱った著書

「鳥の巣の本」「世界の鳥の巣の本」「ぼくの鳥の巣コレクション」「ニワシドリのひみつ」「鳥の巣つくろう」(岩崎書店)「鳥の巣みつけた」「鳥の巣研究ノート①②」(あすなろ書房)「ぼくの鳥の巣絵日記」
「鳥の巣いろいろ」「ふしぎな鳥の巣」「鳥の巣ものがたり」「ツバメのたび」「日本の鳥の巣図鑑、全2
59」(偕成社)「バサラ山スケッチ通信」「ぼくの鳥の巣探検」「世界の鳥の巣をもとめて」(小峰書店)
「おじいさんとヤマガラ」(小学館) アメリカにて「世界の鳥の巣の本」英語版出版。「世界655種 鳥
と卵と巣の大図鑑」(ブックマン社)「ぼくのたからもの」(アリス館)「生きものたちのつくる美しい家」
(エクナレッジ)「わたり鳥」(堂心社)「巣箱のなかで」(あかね書房)「鳥は恐竜だった」(アリス館)
「あるへらジカのもの衣語り」「戦争をやめた人たち」(あすなろ書房)「ニワシドリのひみつをもとめて」
(理論社)「身近な鳥のすごい巣」(イースト新書)

印西市企画提案型協働事業
大森図書館・小林図書館 開館30周年記念事業

鈴木まもる氏講演会

「絵本と鳥の巣のふしぎ」

～鳥の巣が教えてくれること～

2025年7月27日 印西市文化ホール多目的室
印西市立図書館・印西子どもの文化連絡会





絵本のサイン会



絵本ご持参の方には講演 後にサイン会を行います

講演会参加者限定です



会場掲示



参加者制作「いのちの木」(大森図書館展示)

鳥の絵をかこう！



- ◎ わたされた紙に、じゆうに「鳥」のお絵かきをしてください。どんな鳥でもOKです！
できあがったら会場のボードにはりましょう！
- ◎ ゆっくりかきたい人は、家にもちかえってかいてもいいです。かいた絵は大森図書館か小倉台図書館にもってきてください。(8/2まで受けつけます)
- ◎ 夏やすみの間、「**みんなの鳥の絵展覧会**」を大森図書館と小倉台図書館で開催します。
※作品はお返しできません。
印西市立図書館・印西子どもの文化連絡会

会場掲示

鈴木まもる氏講演会（2025.7.27 開催）

アンケート集計結果

アンケート回収： 29件/88名 （回収率 33.0%）

◆ 回答集計 ◆

1. 講演会情報の周知（複数回答）

① 広報いんざい	7	
② 図書館ホームページ	0	
③ 印西市のスクリレ	3	
④ 図書館内のチラシ・ポスター	3	
⑤ 図書館以外のチラシ・ポスター	1	
⑥ としょかんつうしん	0	
⑦ 人から聞いて	8	
⑧ 子文連のホームページ	0	
⑨ その他	3	（うち 鈴木まもる HP より 1件）

2. 居住地域

<印西市内>

① 木下駅周辺地区	1
② 小林駅周辺地区	2
③ 千葉NT 中央駅周辺地区	8
④ 牧の原駅周辺地区	1
⑤ 印旛日本医大駅周辺地区	1
⑥ その他（本埜地区）	2

<市外>

① 我孫子市	0
② 白井市	2
③ 栄町	0
④ その他（鎌倉市）	1

3. 年代・学齢

① 19歳以下	1
② 20歳代	0
③ 30歳代	1
④ 40歳代	5
⑤ 50歳代	6
⑥ 60歳以上	7

*同伴のお子さん

① 未就学児	1
② 小学生	5
③ 中学生	0
④ 高校生年代	0

4. 開催日・時間帯の希望（複数回答）

① 平日	1	(午前)	1	(午後)	0
② 週末	8	(午前)	1	(午後)	4
③ 祝日	7	(午前)	1	(午後)	2
④ 夏休み・冬休み			1		1

5. 講演会の感想（原文ママ）

- 楽しかったです。
- 鳥の巣がすみかではなくたまごのための子宮のようなものと知れたこと
- なぜあの形になるのか、ひとつのことから想像と考察していくとても楽しいお話でした。
- 鳥の巣を多く研究して、そこから発生することをユーモアたっぷり、子どもたちにもやさしくお話され感動です。
- とてもおもしろかった。鳥の話だけでなく子育ての話もためになった。
- エアコンがものすごく寒かったです。
- 絵を描きながらユーモアたっぷりにわかりやすいお話でした。鳥の巣nことだけではなく、いろいろな話題が出て楽しかったです。子どもたちの参加型もよかったです。
- 絵が上手でわかりやすかったです。
- 絵を描きながらの説明や、教育長さんや子どもたちに手伝ってもらいながらのお話はわかりやすく、楽しく、あっという間でした。参加できて本当によかったです。また鈴木まもる先生を呼んでほしいです。
- 前回は入れなかったので、本日参加できてうれしかった。
- とても楽しい時間でした。普段読んでいる本の作者の方の話が聞けて、子どもも初めての体験ができました。
- 話がおもしろかった。話がうまい。
- とても楽しいお話でした。
- 実際の鳥の巣を見れて嬉しく興味深かった。触らせてくれるので貴重な体験。子どもが楽しそうに参加しているのでよいことだなと思った。
- 鳥の巣の実物を見られてよかったです。絵をまじえての説明がとてもわかりやすかった。
- おもしろい話だった。ユニークな先生だった。
- ユーモアあふれるまもるさんのお話が楽しかったです。やさしい言葉でした。
- 先生とのくんだり(*)本になるといいなあ！と感じました。よかったです。今日参加できてよかったです。(*)…背の高い「あ」や太い「あ」の絵が添えられていた。
- 巣に触れたのがすごい。保存技術すごい。たくさんの巣を見せてもらったり、話おもしろかったり、とてもよかったです。しかし映像係（パソコン）がいなかったのが残念。
- 話がおもしろく、あっという間でした。子どもの名前をすぐに憶えてくれて、愛を感じました。
- 楽しくて、おもしろくて、ためになるお話。まもるさんの子どもへのまなざしがうれしかった。
- 話がとてもおもしろく、楽しい時間を過ごすことができました。実物の鳥の巣もすごかったです。
- ☆ まもるさんの講演会、今年はフルバージョンで聞かせてもらいましたが、本当によかったです。昨年参加のリピーターの親子もいたし、昨年入れなかった家族も最前列に陣取っていて、またまもるさんに会いたくなる気持ち、わかりました。
- ☆ まもるさんの子どもたちへの眼差し、対応が実に自然で、教育長には（愛ある）イジリを炸裂させ、時事ネタも盛り込みながら笑いをとり、図書館ネタも随所に放り込むサービス精神で、最後には子育て・教育へのご自身の哲学もじんわり伝わってくる深い深い講演会でした。
- ☆ 参加者を巻き込んで会話しながらのリラックスした楽しい講演会でした。鳥の巣を何種類も見られて触らせてもらえて、貴重な体験でした。鳥の巣を探しに行きたくなりました。

- ◇ アンケートの回答の多さに驚いた。鈴木まもるさんの子ども達への愛を実感するいい講演会だった。それが参加者へ伝わった結果だと思う。
- ◇ 講演会で楽しかったこと：子どもたちがまもるさんに安心して話しかけていたこと。巣や絵本を見せて回る仕事を、緊張しながら一生懸命やっていたこと。会場が一体になったこと。絵を描きながら話してくれたこと。デタラメ話、真実の話。鳥たちが「今」のことをひとつひとつ手を抜かないでやっていると知ったこと。
- ◇ 会場づくり：多目的室があたたかい部屋になった。子どもたちから前に詰めて座ったので、お客さまがまとまった。
- ◇ 先生の鳥に対する愛情溢れるお話はとても楽しく、また興味深かったです。
- ◇ ご自分の仕事である絵本の製作の話から、子どもの豊かな時間を作り育てるためにこの仕事をしていると結び、講演会を通してまもるさんの愛情を感じた。
- ◇ 命をつなぐことは生物の本能だが、人間の赤ちゃんも鳥の赤ちゃんも同じように親の加護と愛情のもとで成長すること、決められたことをやらされるよりも、興味のあることを自分で追求していくことでその世界が広がり、成長していくこと。この二つのメッセージをユーモアを交えて子どもたちにわかりやすくお話して下さった。子どもへの応援歌のように感じた。
- ◇ 子どもたちの質問に真摯に答える姿に感動した。子どもからの質問から大人も興味を持つようなまもるさんの返答にも驚いた。

6. 図書館で企画してほしい事業・講演会など

- 来年もぜひ開催してほしいです。
- また絵本や児童書の作家の方を呼んでほしい。
- 親子（家族）で参加できる企画を希望します。
- まもるさんの会をお願いします。
- また作家さんの講演会がお聞きしたいです。ありがとうございました。
- ◇ 未来を担う子どもたちへいろんな視点の講演会を企画していただきたい。
- ◇ 子どもがもっと本に親しめるような企画を望みます。

7. 図書館への要望・意見など

- 予約方法をアナログにしてください（TEL、FAX、図書館での申込みなど）
- 各図書館の個性あふれる本選びを期待します。もっと魅力的になってほしい（国際子ども図書館のような）。
- 家の近くに歩いて行ける分館がほしいです（千葉NT 地区在住）。図書館の数が多いと助かる（小さくてもOK）集会所の中にあるといいです。
- 2年ぶりに図書館見ました。活気があり読みたくなりました。前は古本屋さんかと思い、入る気になりませんでした。
- またお願いします。
 - ◇ 図書館は本の貸出以外にもたくさんの需要がある。ぜひいろんな楽しい催事を企画してほしい。
 - ◇ 傷んでいる本が多いので、もっと新しい本を入れてほしいです。
 - ◇ 駐車場を増やしてほしいです。

以上

※ 設問5～7には子文連会員の感想も含む（行頭マークで区別）

アンケートにご協力ください

鈴木まもる氏講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ～鳥の巣が教えてくれること」
印西市企画提案型協働事業（印西市・印西子どもの文化連絡会）

本日は講演会にご参加いただきありがとうございました。今後の事業の参考にするため、皆様のご意見をお聞かせください。

- この講演会情報はどのようにしてお知りになりましたか。（いくつでも）
 - ① 広報いんざい ② 図書館ホームページ ③ 印西市のスクリレ
 - ④ 図書館内のチラシ・ポスター ⑤ 図書館以外のチラシ・ポスター（ ）
 - ⑥ としょかんつうしん ⑦ 人から聞いて
 - ⑧ 子文連のホームページ ⑨ その他（ ）

- あなたのお住まいの地域をお聞かせください。
 - <市内> ①木下駅周辺地区 ② 小林駅周辺地区 ③千葉NT 中央駅周辺地区
 - ④ 牧の原駅周辺地区 ⑤ 印旛日本医大駅周辺地区 ⑥その他（ ）
 - <市外> ①我孫子市 ② 白井市 ③ 柴町 ④その他（ ）

- あなたの年代をお聞かせください。
 - ① 19 歳以下 ② 20 歳代 ③ 30 歳代 ④ 40 歳代 ⑤ 50 歳代 ⑥ 60 歳以上
 - *同伴のお子さんがある場合…（未就学児・小学生・中学生・高校生年代）

- このような事業を開催する場合の開催日や時間帯の希望をお聞かせください。（いくつでも）
 - ① 平日（午前・午後） ②週末（午前・午後） ③祝日（午前・午後） ④夏休み・冬休みなど

- 本日の講演会についての感想をお聞かせください。

- 今後、図書館で企画してほしい事業や講演会がありましたらお聞かせください。

- 図書館への要望やご意見などありましたらなんでもご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は、お帰りの際に会場出口の回収箱にお入れください。





イラスト：武田美穂

鳥も人も、地球上のどこに住んでいても、子どもも育てて穏やかに平和に暮らしていけたら…。戦争を知らない子どもたちと歌われた世代ですが、願うことは平和です。

植菜 1-13



印西市企画提案型協働事業 鈴木まもる氏講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ～鳥の巣が教えてくれること」

2025年7月27日 印西市文化ホール多目的室

印西市企画提案型協働事業で印西市立図書館と子文連が協働し、印西市の図書館をもっと市民に愛され親しまれる図書館にしていこうというねらいの企画、絵本作家の鈴木まもる氏を迎えた講演会が文化ホールで開催された。これは大森図書館と小林図書館の開館30周年を祝う事業でもあった。ちば電子申請サービスと図書館窓口の2つの方法で参加受付をしたところ、申込み開始日には満席となるほどの盛況ぶり、鈴木まもる氏の作品の人気と夏休みの子どもの関心の高さが伺えた。

会場入口から見渡せる場所には「いのちの木」が置かれ、参加した子どもたちが自由に鳥の絵を描いたりコーラージュしたりして楽しんでいった。ぜひ見てほしいと自作の巣箱を持ってきてくれた家族もいて、時間より早く会場に登場したまもるさん（ご本人希望の呼び名）は、誰でも気さくに話しながらホワイトボードに次々と絵を描いていく。鳥の珍しい生態や巣作りの工夫、参加した教育長さんまで引っぱ張りこんでしまう愛情とユーモアたっぷりな話ぶりに、会場がどんどん惹きこまれていった。

まもるさんが世界中を巡って集めたたくさんのお鳥の巣を見たり触ったりさせてもらい、それらを掲げて観客に見せていく役をした子どもたちはちょっと照れたような誇らしいような顔をしていた。子どもたちのどんな質問にも丁寧に答えてくれるまもるさんの誠実な姿に感動したという保護者も多く、自分の子育てをふりかえる機会になったとの感想がアンケートに書かれていた。みんなの創作「いのちの木」は、8月前半は大森図書館、後半は小倉台図書館で順次展示される。

子どもの豊かな時間を育てるために自分の仕事をしているというまもるさんの愛情深い姿勢は、図書館の仕事や私たちの活動にも通じるものがあると感じた。この講演会が「より愛され親しまれるこれからの印西市の図書館」作りのきっかけとなることを願っている。（子文連 S）



← 珍しい鳥の巣 ↑ →



「いのちの木」コーラージュ



暑い日々 ミステリーをどうぞ！ 『博物館の少女 怪異研究始め』 富安陽子（偕成社）

明治16年の上野の博物館を舞台にしたミステリー。大阪から上京した古物商の娘、花岡イカル（13歳）が蔵から盗まれた黒手匣の行方を追いつながら深まる謎に迫ります。いったい誰が、何の目的で盗んだのか。隠れキリシタンゆかりの品も噂される、この匣に隠された秘密とは。日本に誕生して間もない博物館を舞台に、謎が謎を呼ぶ事件を描くミステリアスな長編です。

舞台となった東京国立博物館は大英博物館に比する日本初の博物館を作ろうと初代館長らが奔走し、ついに明治15年、かつて寛永寺の敷地であった上野公園内に完成しました。（残年ながら本書に登場するJ.コンドル設計によるレンガ造りの本館は大正12年の関東大震災により崩壊し、現在の建物は昭和13年に再建されたもの）

本書では入念な時代考証による当時の博物館・神田教会（現カトリック神田教会）の敷地の様子や馬車鉄道などの街並み、文明開化の東京の息遣いや、イカルの着ている着物の柄までもが目に浮かぶような、とびきり秀逸な作品です。

ぜひご一読あれ。そして博物館に足を運んでみてはいかがでしょうか。（木刈親子読書会 W）

《編集後記》

ロシア、ウクライナ情勢の悪化の影響により航空会社の欧州線はロシア上空を迂回する飛行経路になっている。

日本発の経路は「北回り」（アラスカ・北極経由）、欧州発では「南回り」（南下し中東・中国経由）で、飛行距離、準備面等で従前とは違う制約がある。紛争が終わりをみせる気配がない今、やるせない気持ちを抱きながら戦後80年の夏、私は欧州への往復をした。（代表N）

E-mail: inzai.kbr@gmail.com

HP: <https://inzai-kobunren.jimdofree.com>



印西市企画提案型協働事業 「市民に愛され親しまれる印西市立図書館をめざす事業」
鈴木まもる氏講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ」

第1回 業務内容打合せ 記録

日 時	令和7(2025)年 4月22日(火) 14:00~15:30
場 所	印西市立小倉台図書館 会議室
出席者	委託者：(小倉台図書館) 根本館長、鈴木 受託者：(印西子どもの文化連絡会) 中村、柴田、熊谷
資 料	【子文連】レジュメ、事業企画書 【図書館】広報いんざい原稿提出期限表、アンケート過去例

1. 進捗状況の報告【子文連より】

(1) 講師との打合せ内容

- ◇ 講演内容…昨年開催した木刈親子読書会の講演会と同様の内容。親子向け講演会
- ◇ 当日の進め方
 - ・ 講師を千葉 NT 中央駅⇄文化ホール送迎（文化ホール到着予定 12 時頃） 子文連
 - ・ 講師より時間延長もあり得るとのことで、会場予約を 18 時までとする。
 - ・ 使用機材（プロジェクター、スクリーン、マイク等）は文化ホールのリストにより事前に確認し予約 図書館。機材設営は文化ホールにも協力依頼。
- 【Q】市長・副市長の出席について要確認 図書館

(2) 打合せ記録書類の確認【図書館より】

- 【Q】業務内容打合せ記録簿の記入・提出方法について確認。記録は 2 部作成し双方で保管。打合せは毎月でなくてもよい。メールや電話にて報告・確認も可能。

2. 事業内容について協議検討

(1) 会場予約と時間の確認

- ◇ 会場は終日予約済み。講師の希望により講演が長引く場合もあると想定して、3 部屋（多目的室・和室・小会議室）とも 10~18 時の予約とする。

(2) 申込み方法・・・2タイプ（A.千葉県電子申請サービス申込み・B.図書館窓口申込み）

- ◇ 申込み開始日と〆切
 - ・ 両タイプとも、申込開始日は 7/1 号広報発行の 1 週間後、〆切は 7 月 23 日(案)。図書館休館日や参加者リスト作成の日程を考慮して決定する。
→ チラシ・ポスター作成に間に合うように確認して連絡 図書館
 - ・ 〆切前でも定員に達した時点で申込み終了。
 - ・ 申込み状況の取りまとめと参加者リストは図書館が作成。
 - ・ 問い合わせ先は大森図書館（電話）のみ。
- ◇ A.千葉県電子申請サービス
 - ・ 申込みの記載項目については要確認 図書館
 - ・ 家族で申込み場合を考慮し、申込み 1 件につき 4...

【20250422 第1回打合せ記録】

◇ B.図書館窓口申込み

- ・ 申込み記載内容については、電子申請システムと同様とする
- ・ 申込み受付窓口と問い合わせ対応は大森図書館のみにて行う。

(3) 告知・広報

◇ 広報いんざい（7/1号掲載希望）

【Q】この号は図書館の夏休み特集となるか要確認 図書館

- ・ 昨年も夏休み特集となっていたし、大森・小林両図書館の30周年記念事業でもあることから、特別枠で扱ってほしい（子文連希望）

◇ ポスター 作成は子文連、配布は図書館

- ・ A2サイズ片面カラー印刷、80枚印刷予定。
- ・ 市内図書館、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設、小中学校に配布。

◇ チラシ 作成は子文連、配布は図書館

- ・ A4サイズ両面カラー印刷、2,000枚印刷予定。申込書枠（キリトリ用）をチラシに印刷はしない。

・ 申込書は大森図書館1か所で配布。図書館作成

◇ スクリレ、SNS 図書館

- ・ スクリレには案内文とチラシで配信
- ・ SNSは印西市の公式Xを利用

◇ ポスター・チラシの掲載内容について

- ・ 申込み方法についての案内、A.千葉県電子申請サービスのQRコード、問合せ先となる大森図書館の電話番号

3. その他

(1) 今後のスケジュール

- ◇ 定期的な打合せでなくても、適時メールなどで情報共有を行っていく。電話も可能。
- ◇ 当面はポスター・チラシ作成に取りかかり、原案ができあがり次第共有する。

(2) 事後アンケート

◇ アンケート形式

- ・ 講演後に記入できるアンケート用紙を配布する。図書館の過去例が提案された。

◇ 活用方法

- ・ 図書館は事業評価として、子文連は今後の活動に役立てられる。

◇ 設問・内容の決定、集計方法、担当など

- ・ 講演会前までに用意してあればよい。設問内容や集計については図書館の過去例を参考に作成 子文連

以上

印西市企画提案型協働事業 「市民に愛され親しまれる印西市立図書館をめざす事業」
鈴木まもる氏講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ」

第2回 業務内容打合せ 記録

日 時	令和7(2025)年6月25日(水) 15:00~16:00
場 所	印西市立小倉台図書館 会議室
出席者	委託者：(大森図書館) 秋山館長、根本分館長 阿久津 鈴木 受託者：(印西子どもの文化連絡会) 柴田、熊谷
資 料	【子文連】レジュメ、鈴木氏からのリクエスト、進行と担当(案) 【図書館】チラシ・ポスター配布リスト、広報いんざい7/1号ゲラ刷り、スクリレのサンプル画像

1. 進捗状況の報告【子文連より】

(1) チラシ・ポスター配布、広報

◇ チラシ・ポスター配布

- ・ 図書館提供のリストの通り。
- ・ 子文連からの配信・発送は、7/1以降の予定。市民活動支援センターへはだんご通信掲載のため配布済。

◇ 広報

- ・ 「広報いんざい」7/1号、「としょかんつうしん」#143、市民活動支援センター発行の「だんご通信」7月号#71掲載

(2) 講師からの要望(別紙)について確認

◇ 必要な機材・・・図書館が在庫チェックまたは文化ホールに確認

- ・ ホワイトボードは2面用意。
- ・ プロジェクター接続のノートパソコン、ピンマイク、ホワイトボード用マーカー(ない場合は子文連で購入する)

2. 事業内容について協議検討

(1) 事前準備および当日の進行と担当案(別紙)

◇ 講師の動き

- ・ 千葉ニュータウン中央駅利用で、子文連が送迎を行う。会場到着後、機材等の確認を行い昼食(子文連代表者4名同席)。その後講演会まで講師の時間を確保する。

◇ 当日の役割については子文連の担当で別紙の通り分担する

- ・ 図書館スタッフ対応が求められる役割

【絵本展示】子文連担当との連携する

【受付】名簿チェック(子文連2名のみでも可だが、時間帯により3名いるとよい)

【記録】写真撮影担当(子文連1名の他に市側が必要であれば。後日写真共有も可)

【会場設営】手が空いている人全員で行う

(2) 会場レイアウトについてのアイディア

◇ 参加する子どもたちとの体験の共有として、

- ・ 会場内に子どもたちの自由お絵描きスペースを設置する案あり
- ・ 講演会参加後の子どもたちが描いた鳥や巣の絵を描いて図書館に提出し、図書館で掲示することは可能か → 展示スペース、展示後の作品の処理等について要確認

- (3) 事後アンケートについて
- ・ 前回配布された資料を元に作成中。今のところ追加項目はない。
- (4) 当日の進め方
- ・ 印西市からの参加者（市長・副市長、教育委員会、図書館）については、図書館が確認して子文連に連絡。
 - ・ 当日の講師への挨拶のタイミングについては、子文連が確認して図書館に連絡する。
 - ・ 当日の文化ホール内での案内表示、デジタルサイネージについては図書館が文化ホールに確認する。デジタルサイネージ利用希望の場合はデータ（jpeg）を提出する。
 - ・ 会場内のバナーは作成せず、プロジェクターによる投影とする。
 - ・ 会場の定員 100 名を守り、多い場合は子文連での調整をする。

3. その他

- (1) 申込み多い場合・少ない場合、その他想定外のリクエストへの対応など
- ・ サイン会のみ参加希望は受け付けない。
 - ・ 申込み切より前に定員に達した場合は、図書館のポスターに満員御礼などの表示などを考える。電子申請サービスは定員に達した時点でアクセス不可になる。
- (2) その他
- ・ 当日の文化ホール事業について確認 …午前中に会議室（大）利用の講習会あり
 - ・ 役割分担に保険担当を追加して確認しておく。

以上

◎ 打合せ後に確認されたこと

- ・ 子文連より、絵本を展示するためのブックスタンド 20 個借用の依頼
 - 当日図書館から借用することで了解
- ・ ホワイトボード用のマジックペンは消耗品として子文連予算に含まれている
 - 子文連で購入し準備

印西市企画提案型協働事業 「市民に愛され親しまれる印西市立図書館をめざす事業」
鈴木まもる氏講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ」

第3回 業務内容打合せ 記録

日 時	令和7(2025)年 8月21日(木) 15:00~16:15
場 所	印西市立小倉台図書館 会議室
出席者	委託者：(大森図書館) 根本副館長 阿久津 鈴木 受託者：(印西子どもの文化連絡会) 中村 柴田 相馬 渡辺
資 料	【子文連】レジュメ 参加者アンケート集計報告 【図書館】請求書書式案

1. 講演会のふりかえり

(1) 参加者アンケート報告・・・添付資料の通り

- ・ 申込受付の翌日には満席となったこと、当日の参加者の様子、事後アンケートなどから、講演会は好評だったことがわかる。

(2) 図書館・印西市より

- ・ 親近感のある絵本作家が講師だったこともあり、参加申込みや告知後の図書の貸出も好調だった。しかし、講演会が具体的に図書館の利用率アップや貸出数の向上につながったという様子は見られなかったように思う。
- ・ 講演会前に図書館に絵本特別展示の期間を設けたことは好評で、展示してあった絵本のほとんどは貸し出されたこともあり、図書館利用率アップの一助になったと考える。
- ・ 親子で楽しめる講演会だったが、時間がオーバーしたこともあって、講演会終了後すぐに図書館の閉館時間となってしまったことが残念だった。講演会後に参加者が図書館でゆっくり本を探せる時間が取れたらよかった。
- ・ 講師の著作だけでなく、鳥の図鑑なども一緒に資料として展示できたらよかった。
- ・ スクリレ配信タイミングが、他の夏休みイベント情報数件と同時配信だったため情報が埋もれてしまいあまり目立たなかったのが残念だった。
- ・ 図書館としては今回初めてちば電子申請サービスを利用したが、申込み方法としてはわかりやすかったようだ。一部でアナログでの申込み（窓口対応）を増やしてほしいとの要望もあった。

(3) 子文連より

- ・ 木刈親子読書会で昨年お願いした講師でもあったので、子文連としては講演会のイメージが作りやすかった。講師の自由なスタイルやユーモアを交えての話ぶり、子育てと絵本作りエピソードの話、そして参加した子どもたちが鳥の巣を持って会場を回ったりするなど、一体感があり笑顔が多い講演会だった。
- ・ 開場から開演までの30分間を使って、参加者に「いのちの木」のコラージュを体験してもらった仕掛けを会場内に設置したことが、絵本の展示コーナーと併せて会場の柔らかく楽しげな雰囲気づくりに役立った。
- ・ アンケートによるとスクリレからの申込みは予想よりも少なかったが、クチコミで知った人が多かったことにも驚いた。

2. 企画提案型協働事業についてのふりかえり

- 図書館も子文連も初めての協働事業だったため、三者会議での確認事項、契約締結後（令和7年度4月以降）の打合せタイミングなどに戸惑うことが多かったが、確認事項などはメールや電話などで補って進めることができた。
- 「協働」ということに双方が手探り状態で、担当の範囲なども曖昧だったため、そのつど話し合っ確認しながら進めた。
- 今回一度の講演会開催だけで図書館の利用者増にすぐに結びつくわけではないので、今後も市民ニーズを捉えた事業を展開して、「市民に愛され親しまれる図書館」を目指し、今回がそのきっかけとなれればと願う。

3. 確認・その他

(1) 実施報告書・会計について確認

- ・ 事業報告書、業務完了報告書、請求書を書式に従って子文連が作成し提出する。会計の詳細報告は不要。
- ・ 業務完了期日は、小倉台図書館での「いのちの木」展示が終了する8月31日とする。

(2) その他

- ・ 今回の講演会開催までの作業工程について一覧にした資料を作成してほしいと図書館から要望があった。→ 子文連が作成し後日提出する。

以上

企画提案型協働事業 鈴木まもる氏講演会 作業記録

月 日	内 容	内 容 詳 細
2024年度	三者協議にて	・講演会および講師候補について提案
	講師への打診	・鈴木まもる氏に講演会講師依頼の可能性と日程の打診 (謝金等の詳細は2025年度の契約後になることを伝える)
	子文連ミーティング	・講演会までのスケジュールと仕事内容/分担など検討

月 日	内 容	内 容 詳 細
2025/4/1	契約締結	・企画提案型協働事業業務委託契約締結
2025/4/22	第1回業務内容打合せ	【報告】 講師との打合せ内容報告、進行案について 【確認】 市長・教育長の出席確認依頼、打合せ方法や記録書類の確認、参加申込み方法検討（千葉県電子申請サービス、図書館窓口） 会場予約時間の確認 【協議】 広報の方法とツール、参加者へのアンケート、今後の進め方
2025/4/25	チラシ/ポスター制作打合せ	・ブレインストーミング～イメージ決定、制作スケジュール確認
2025/5/2	図書館に確認（電話・メール）	・広報いんざい（7/1号）掲載のためのスケジュールとビジュアル確認
2025/5/12	チラシ/ポスター制作打合せ	・チラシ/ポスターデザイン案検討
2025/5/27	図書館に確認（電話・メール）	・図書館にチラシ/ポスター案第1稿提出、詳細打合せ ・本塾/印旛図書館改修工事で休館前に他館での貸出のための絵本確保を依頼 当日会場に展示する講師の作品リストを基に準備を依頼
2025/6/3	図書館に確認（電話・メール）	・図書館にチラシ/ポスター第2稿提出、印刷枚数、配布揭示先確認
2025/6/5	図書館に確認（電話・メール）	・イオンモールのデジタルサイネージでの告知検討→見送り
2025/6/12	図書館に確認（電話・メール）	・チラシ/ポスター最終稿確認、広報いんざい掲載原稿の確認
2025/6/12	チラシ/ポスター制作打合せ	・校了→プリントバックに発注（6/17納品予定）
2025/6/17	図書館に確認（電話・メール）	・チラシ/ポスター納品→大森図書館へ配達
2025/6/25	第2回業務内容打合せ	【報告】 チラシ・ポスター配布先及び広報の方法について 【確認】 講師からの講演会についての要望に基づき会場・資材の確認 【協議】 当日の講師対応、進行・担当案詳細、会場レイアウト（展示物）、事後アンケートの設問内容とまとめについて、イベント保険加入、応募の多い（または少ない場合）の対応について
2025/7/1	広報いんざいに告知掲載	・広報いんざい7月1日号に告知記事掲載
	図書館に確認（電話・メール）	
2025/7/6	申込開始	・講演会参加申込み開始（ちば電子申請サービス/大森図書館窓口）
2025/7/8	講師資料（写真データ）準備	・講師から送付された講演会で使用する写真データを図書館に送る
2025/7/9	会場下見	・文化ホール多目的室下見、会場レイアウト/機材などの確認
2025/7/20	図書館に確認（電話・メール）	・講演会後の参加者の絵の展示について確認
2025/7/22	図書館に確認（電話・メール）	・市長、教育長の講演会参加の可否について最終確認
2025/7/22	イベント保険加入	・講演会参加者対象のイベント保険に加入手続き完了
2025/7/27	講演会実施	・会場設営、機材準備、受付準備、「いのちの木」展示準備、著作展示 ・講師迎え、会場と機材点検、昼食＆茶菓準備、昼食兼打合せ ・講演会（講演、サイン会、絵本の展示、参加者による「いのちの木」制作） ・講演後に講師と懇談、講師資料の返送手続き、講師送り
2025/7/28	講師謝礼振込	子文連が立替払い、お礼メッセージ送付
2025/8/3	大森図書館展示	「いのちの木」展示（～8/16）
2025/8/17	小倉台図書館展示	「いのちの木」展示（～8/31）
2025/8/21	第3回業務内容打合せ	【報告】 講演会ふりかえり（印西市・図書館より、子文連より） アンケートまとめ報告 【確認】 事業報告書等の提出について確認
2025/8/21	News Letter 発行	・子文連News Letter # 37（8/21号）で講演会の報告
2025/8/31	完了書類等提出	「事業報告書」「業務完了報告書」「事業請求書」提出
2025/9/11	銀行振込確認	事業委託費の口座入金を確認

※ 子文連ミーティング： 毎木曜日開催

印西市子ども家庭課主催

令和7年度第7回

乳幼児期子育て連続講座

資料1-3提案3

0歳児のパパ・ママ集まれ!



子どもの心を育む

6回講座

～ハートフルセッション
乳幼児の子ども心のコーチング～

話して、気づいて、ホッとする♪

参加費無料

先着10名

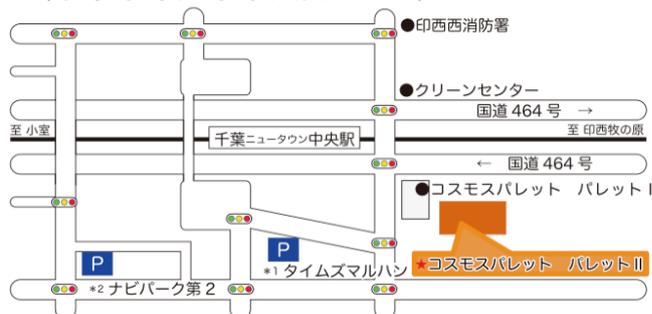
(申込制)

対象者 ▶ 市内在住の0歳児（申込時）の保護者
日程 ▶ 令和7年

①9/18 ②10/2 ③10/16 ④10/30
⑤11/13 ⑥11/27

全日程木曜日 10:00～12:00

会場 ▶ コスモスパレット パレットII 3階会議室
(千葉県印西市中央南1-4-3)



*1 タイムズ マルハン千葉ニュータウン店5・6階 (印西市中央南1-7)
*2 ナビパーク千葉ニュータウン中央駅前第2駐車場 (印西市中央南1-11)
駐車場は、どちらかの駐車場をご利用のうえ、会場まで駐車券をお持ちください。
※ナビパーク千葉ニュータウン中央駅前第1駐車場はご利用できません。

講師 ▶

NPO 法人
ハートフルコミュニケーション理事
福田潔子



申し込み

8月1日(金) 9時～9月12日(金) 17時

右の2次元コード、又は URL よりお申し込みください

https://apply.e-tumo.jp/city-inzai-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=47673



お問い合わせ ▶

子ども家庭課児童相談係

電話：0476-33-4753

連続講座内容▼

ハートフルセッションは、『子どもの心のコーチング』（菅原裕子著・PHP 文庫）の内容をもとに、日常で起こる子育てのあんなこと、こんなことを参加者同士話しながら、自分に合った子どもとの接し方を見つける時間です。（6回連続講座）

日程 & テーマ

第1回 9/18(木) 親の役割って何だろう？

第2回 10/2(木) 『自分が大切』の気持ち

第3回 10/16(木) 『自分でやる！』を育てる

第4回 10/30(木) 思いやりの心を育てる

第5回 11/13(木) しつけて何？

第6回 11/27(木) 親の幸せは自分でつくる



- * 赤ちゃん連れ参加OK。マットの上で寝転んだり、ハイハイできます。
- * 講師、参加者みんなで赤ちゃんを見守りながら受講できます。
- * 6回連続講座ですが、参加できない回があっても大丈夫です。
- * 受講に関してご不安がある方は遠慮なくご相談ください。

令和6年度講座参加者の声▼

自分にとってホッと安心できる時間だった。

毎回、楽しみに参加！

育児の軸が作れた。

たくさんの方と話げできた。

今後の子育てに活かせるヒントが得られた。



団体紹介▼

NPO 法人ハートフルコミュニケーション

ハートフルコミュニケーション®のテーマは子どもの幸せな自立。

そのために子どもの「生きる力」を引き出すことを提案しています。子育てにコーチングを取り入れたプログラムを全国各地の自治体からの依頼を受け実施。

詳しくはホームページをご覧ください



<http://www.heartful-com.org>

ハートフルコミュニケーション

検索



★子育て Idea Box

http://www.heartful-com.org/html/02_16.html



幼児・学童期のパパ・ママ集まれ!



子どものやりたい! を引き出す4回講座

『子どもの心のコーチング』 ～実践編～

学んで、気づいて、やってみる♪

参加費無料

先着 **20** 名

(事前申込制)

対象者 ▶ 市内在住の3歳～小学生の保護者

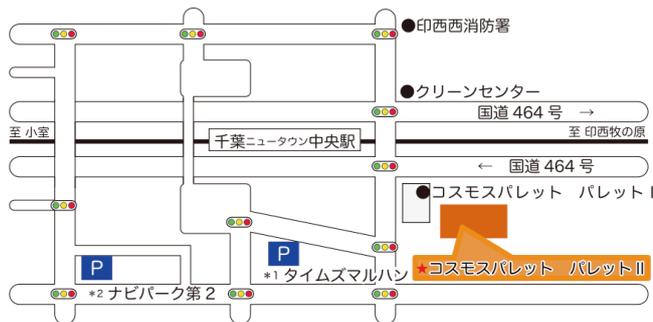
日程 ▶ 令和8年

①1/14②1/21③2/4④2/18

全日程水曜日 10:00～12:00

会場 ▶ コスモパレット パレットII3階会議室C

(千葉県印西市中央南1-4-3)

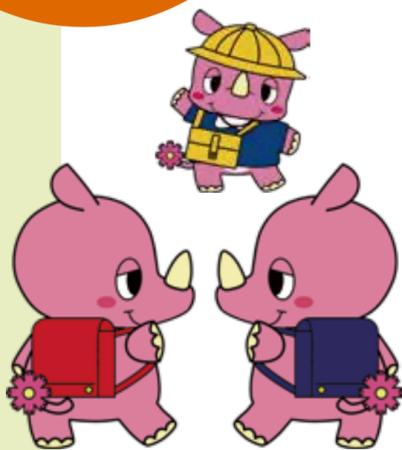


*1 タイムズ マルハン千葉ニュータウン店5・6階 (印西市中央南1-7)

*2 ナビパーク千葉ニュータウン中央駅前第2駐車場 (印西市中央南1-11)

駐車場は、どちらかの駐車場をご利用のうえ、会場まで駐車券をお持ちください。

※ナビパーク千葉ニュータウン中央駅前第1駐車場はご利用できません。



申し込み

12月1日(月)9時～ 令和8年1日7日(水)17時締切

右の2次元コード、又はURLよりお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/city-inzai-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=51030



連続講座内容▼

言うことをきかない子どもにイライラしたり、怒りすぎたり、
私の子育てこれでいいのかな？と思うことはありませんか？

第1回目の講演では、子どもの『生きる力』を育てるための基本的な考え方を学びます。
2回目からは、『しつけ』をキーワードに、より実践的なやり方を、参加者同士の対話や
体験ワークを通して見つけます。

日程 & テーマ

- | | |
|-------------|--|
| 第1回 1/14(水) | 『子どものコーチング』講演会
子どもの幸せな自立のために、育てたい3つの力 |
| 第2回 1/21(水) | 幼児期に大切なこと
しつけとは？ほめる・叱るよりうまくいくやり方 |
| 第3回 2/4(水) | 学童期に大切なこと①
ヘルプからサポートへの切り替え方 |
| 第4回 2/18(水) | 学童期に大切なこと②
子どものやりたい！を引き出す親のかかわり方 |

- * 託児の用意はありません。保護者のみのご参加をお願いします。
- * 4回連続講座ですが、参加できない回があっても大丈夫です。
- * 受講に関して不安がある方は遠慮なくご相談ください。

講師紹介▼

第1回

全国で講演・ワークショップの講師を務める。成人した二人の息子の子育て奮闘体験を生かし、日本中の親が元気に子育てを楽しめるよう子育て支援活動を展開中。



NPO 法人ハートフルコミュニケーション 副理事長
平松 容見子

第2回～第4回

全国各地の自治体でのワークショップ講師を務めると共に、千葉県内では、親のための学びの場「ハートフルセッション」継続開催している。また、行政との協働事業にも積極的に取り組んでいる。



NPO 法人ハートフルコミュニケーション 理事
福田 潔子

団体紹介▼

NPO 法人ハートフルコミュニケーション

ハートフルコミュニケーション®のテーマは子どもの幸せな自立。
そのために子どもの「生きる力」を引き出すことを提案しています。子育てにコーチングを取り入れたプログラムを全国各地の自治体からの依頼を受けて実施。

詳しくはホームページをご覧ください



<http://www.heartful-com.org>

ハートフルコミュニケーション

検索



★子育て Idea Box

http://www.heartful-com.org/html/02_16.html



関連資料

虐待予防事業「子育てを学ぼう！乳幼児から始める子どもの心のコーチング」

NPO 法人ハートフルコミュニケーション千葉エリア

実施講座

① 乳幼児期子育て講座（9月～11月実施）

「子どもの心を育む6回講座～ハートフルセッション 乳幼児の子どもの心のコーチング」

1回～4回 会議室での実施の様子

子どもたちも自由にハイハイし、子どもたちの接し方をその場で感じ取れる場に。



裏面

5回・6回 じどう館横のプレイルームでの実施

初回からの子どもたちの成長を全員で感じられた。

こども館の存在も周知ができ、講座終了後の交流にも役立っている



途中で小グループに分かれてじっくり話し合う場面も取り入れ話しやすい工夫も

